

KS-23-15 (新青丸) 研究航海報告

- \* 航海番号 KS-23-15 次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 海氷期を含めた南部オホーツク海の海洋物理構造・生態系・生物地球化学過程の季節的変動の把握  
(英文) Seasonal variability of physical water masses and biogeochemistry in the southern Sea of Okhotsk
- \* 観測海域 (和文) 南部オホーツク海および知床周辺海域  
(英文) Southern Sea of Okhotsk and around the Siretoko Peninsula
- \* 航海期間 令和5年8月30日(水)～令和5年9月12日(火)
- \* 出港日時・場所 8月30日14時本八戸港
- \* 入港日時・場所 9月12日9時小樽港
- \* 寄港期間・場所 途中紋別で通船にて研究者1名乗船・2名下船
- \* 研究課題 秋季の南部オホーツク海の海洋物理構造・生態系・生物地球化学過程の観測の実施、2022年5月に設置した係留計の回収
- \* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
西岡 純・北海道大学低温科学研究所・教授・nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp
- \* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
  1. 係留系揚収(水温、塩分、流速、セジメントトラップ), 西岡純(nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
  2. CTD クリーン採水(ベクトランアーマードケーブルウインチの使用を希望)+L-ADCP+乱流計, 西岡純(nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
  3. 水中分光光度計(C-OPS Biospherical Instruments Inc.)等を用いた表層光学観測, 鈴木光次(Koji Suzuki <kojis@ees.hokudai.ac.jp)

4. スミス・マッキンタイヤ採泥器による採泥, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
5. 曳航体および表層モニタリングを用いた表層連続サーベイ観測, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
6. コンパスデッキにおけるハイボリュームエアサンプラーおよびカスケードインパクターを用いた大気エアロゾルサンプリング, 宮崎雄三 (yuzo@lowtem.hokudai.ac.jp)
7. ブリッジ、もしくはアッパーブリッジから双眼鏡を用いた海棲哺乳類目視調査および計量魚群探知機による音響調査を実施, 李 何萍 (li.heping.63w@st.kyoto-u.ac.jp)
8. CTD オプションセンサーとして有色溶存有機物センサによる観測, 山下洋平 (yamashiy@ees.hokudai.ac.jp)
9. NORPAC ネット (動物プランクトン) による観測, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
10. X-CTD 観測, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
11. ドローンによる海水採取, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)
12. 船底 ADCP による流向流速観測, 西岡純 (nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp)

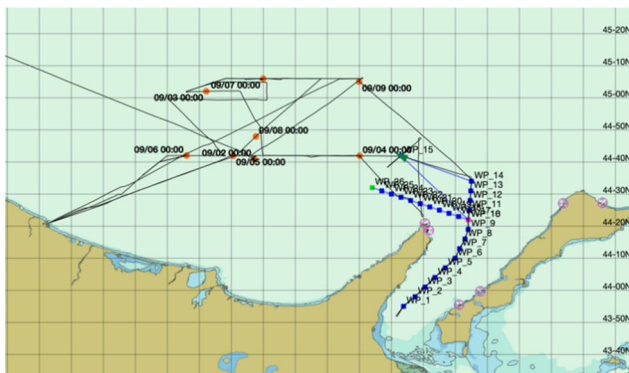
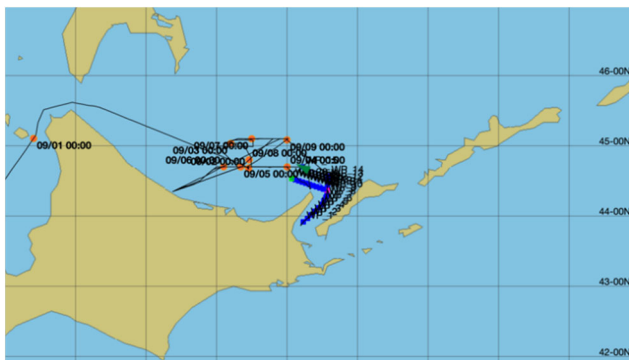
\* 乗船研究者氏名・所属・職名

氏名	所属	役職名
西岡 純	北海道大学・低温科学研究所	教授
小野 数也	北海道大学・低温科学研究所	技術専門職員
山下 洋平	北海道大学・地球環境科学研究院	准教授
鈴木 光次	北海道大学・地球環境科学研究院	教授
宮崎 雄三	北海道大学・低温科学研究所	助教

村山 愛子	北海道大学・低温科学研究所	学術研究員
石垣 秀雄	東京大学・大気海洋研究所	技術専門職員
今井 望百花	北海道大学・環境科学院	大学院生
本田 茉莉子	北海道大学・環境科学院	大学院生
孫 延旭	北海道大学・環境科学院	大学院生
岩元 勇太	北海道大学・環境科学院	大学院生
宮瀬 陸	北海道大学・環境科学院	大学院生
李 何萍	京都大学大学院理学研究科	大学院生
鈴木 百夏	京都大学大学院理学研究科	大学院生
宮嶋 優希	マリン・ワーク・ジャパン	観測技術員

\* 航跡・測点図

航跡（上・中）



测点图

